

天井 - 天井用 S X (A X) 4 4

下地仕上げ

- 1 . 内壁のクリアランスと天井のクリアランスおよび床のクリアランスの中心線は、必ず合わせて下さい。
- 2 . 天井材のクリアランスは、変位量にあわせて仕上げて下さい。それぞれの規定値よりも狭い場合には変形性能が確保できなくなる場合があります。(表 1 , 図 1 , 図 2)
- 3 . 野縁は必ず天井材開口部の両端に設けて下さい。

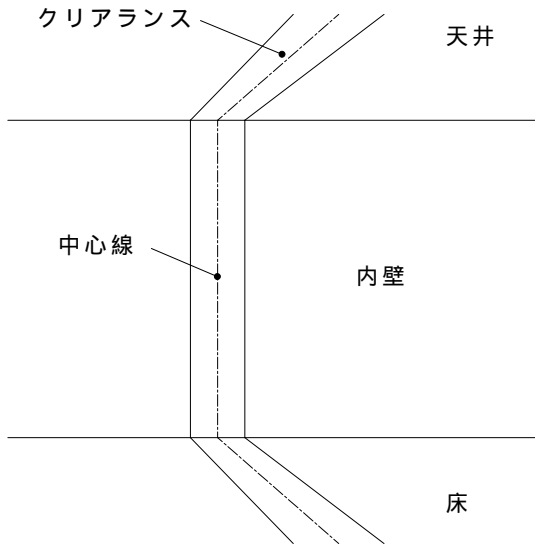


図 1

表 1 . W 寸法表

呼 称	W 寸法
SX44 - 50F	65
SX44 - 100F	115
SX(A X)44 - 50G	65
- 100G	100
- 150G	150
- 200G	200
- 300G	300

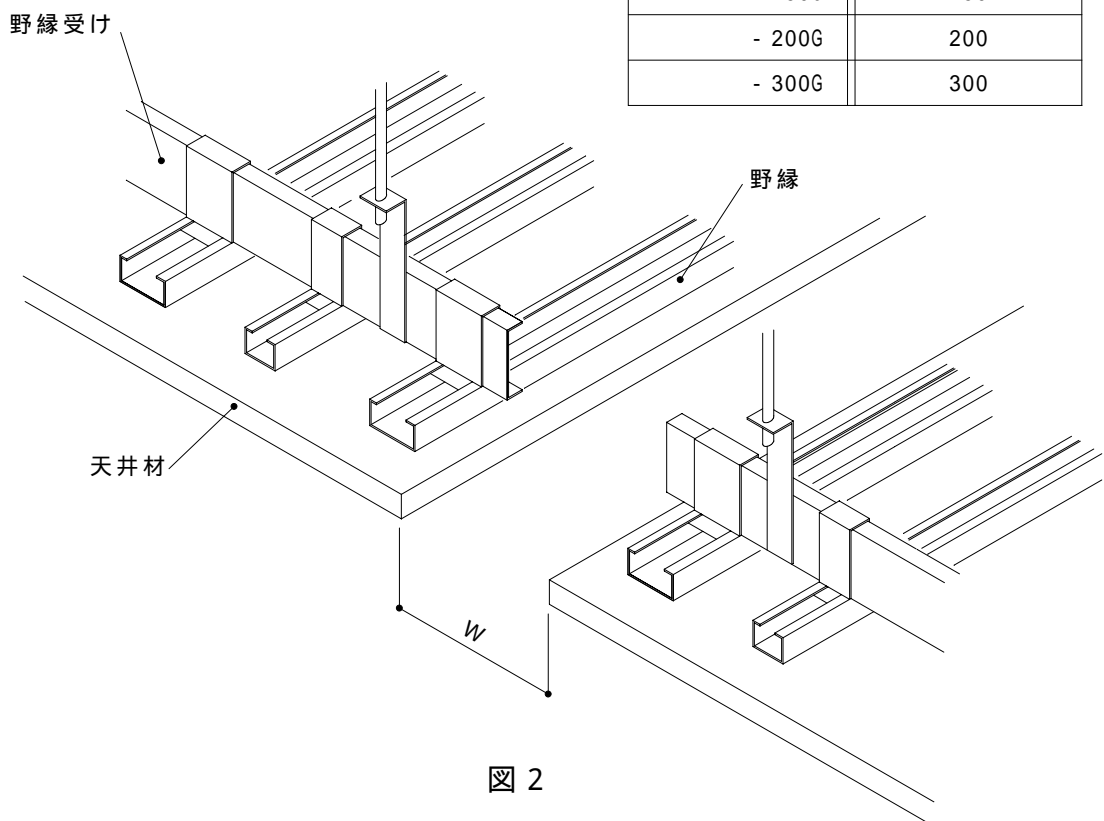


図 2

取付準備

製品は使用場所別に手配書の部番に合わせて梱包出荷されます。取付前に部品ユニットがすべて揃っていることを確認してください。

取付は次の順序で行ってください。

1. レベル墨打ち

床、内壁、天井のクリアランスをチェックして中心位置を求め、ホルダーユニットの位置にレベル墨を打ちます。レベル墨の位置（C寸法）は、図3及び表2を参照して下さい。

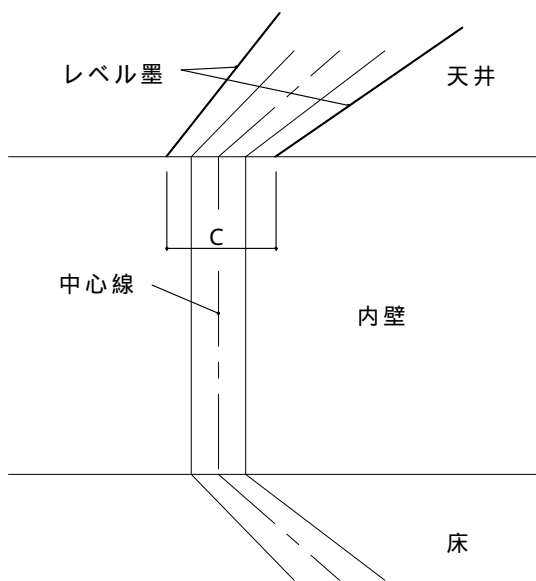
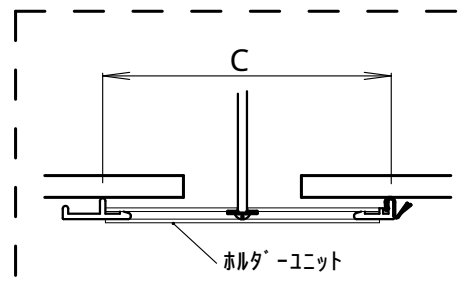


図3

表2 . C寸法表

呼 称	W寸法
SX44 - 50F	159
SX44 - 100F	310
SX(AX)44 - 50G	110
- 100G	210
- 150G	310
- 200G	419
- 300G	519



2. ホルダー取付位置のマーキング

ホルダー取付位置をマーキングしてください。（図4）取付ピッチは500mmです。

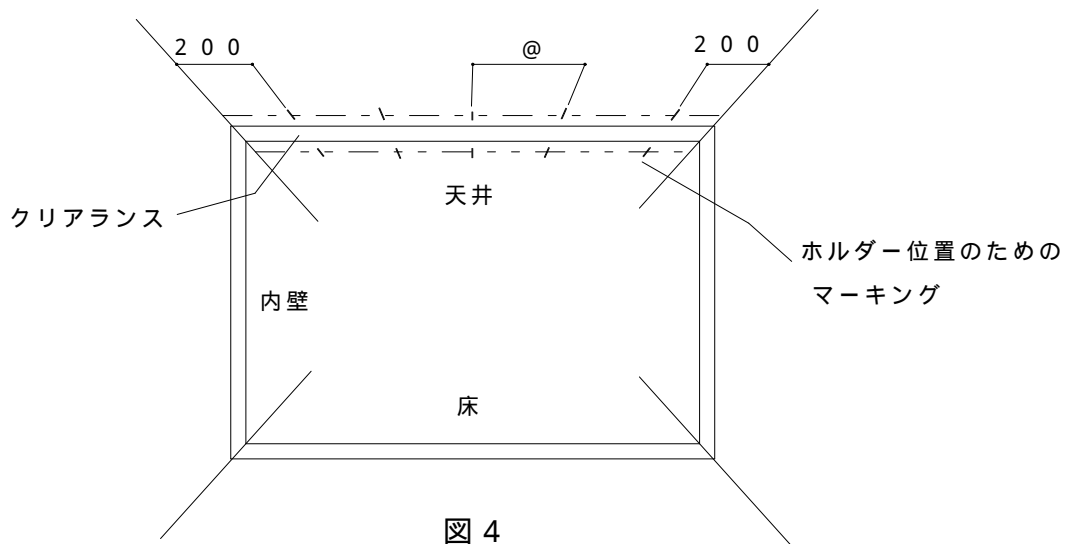


図4

3.ホルダーユニットの天井面への取付

天井面のホルダー位置のマーキングにしたがって図5, 6のように補助バーを野縁に載せ500ピッチでホルダーユニットを固定します。このとき六角ナットでスプリングの強さを調節して下さい。

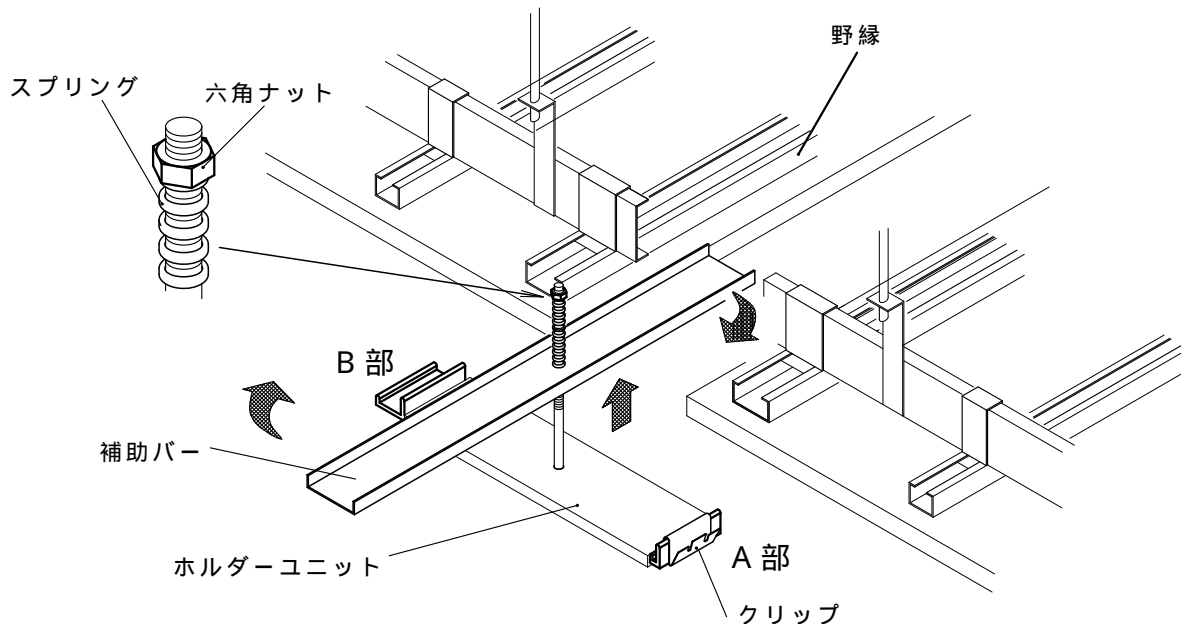


図5

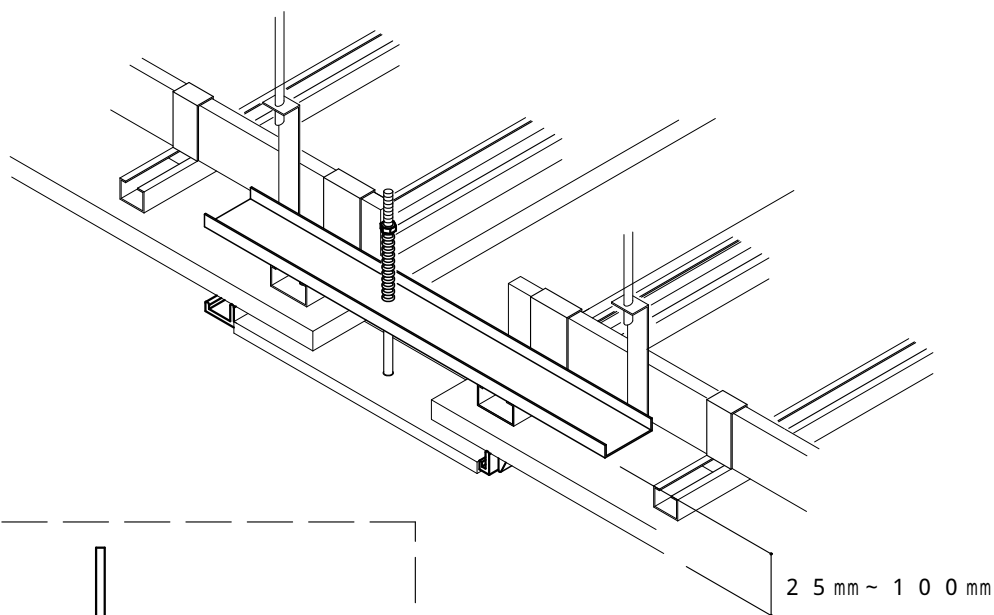
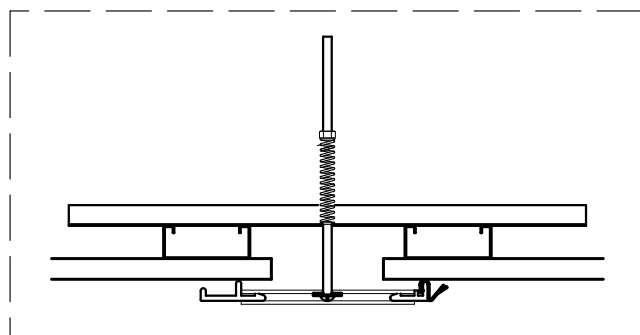


図6



注1)ホルダーユニットのA部(クリップ側)がすべて同じ方向にくるように取付して下さい。

注2)ホルダーの取付可能寸法は25mm~100mmに設計されていますので寸法に応じて必ず六角ナットでスプリングの強さを調節して下さい。

4. カバーの取付

ホルダーユニットにカバーをかぶせ、図5のB部にカバーの片側を掛けます。次にホルダーユニットのA部(図5)のクリップに押し付けるようにしてカバーをはめ合います。(図7)

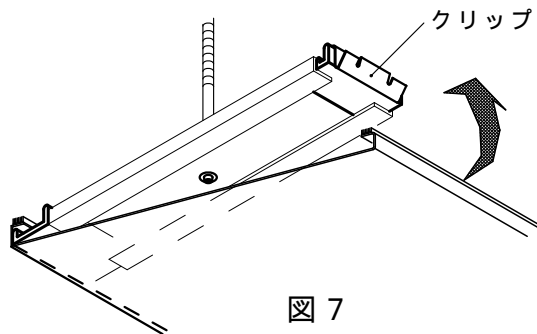
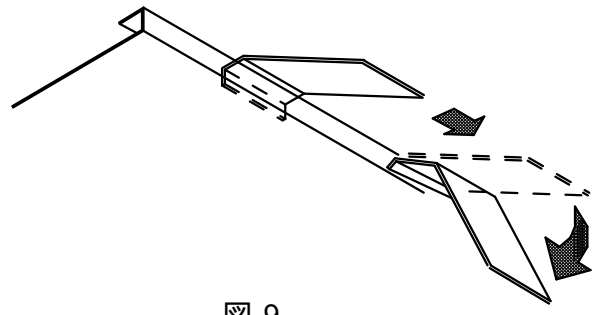
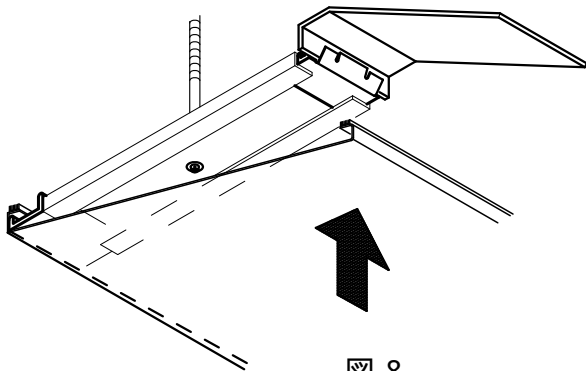


図7

カバーとホルダーユニットのクリップがかみあいにくい場合は、ホルダーと一緒に梱包されたカバー取付工具を使用します。

まず、図8のように取付工具をクリップの部分にかけカバーを矢印の方向に押し付けます。カバーとクリップがかみあうときにカチッという音がしますので確認してください。

次に図9のように取付工具を横にずらし、回転させるようにして外します。



注) カバーのジョイント部は、図10のようにホルダーに半分づつカバーが掛かるようにして下さい。

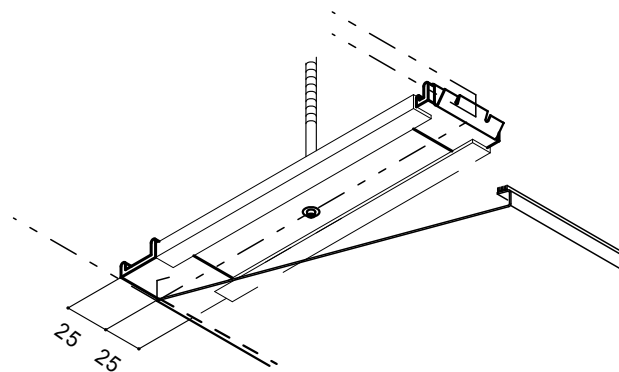


図10

5. カバーのネジ止め

SX44-200G、及びSX(AX)44-300G(クリアランス200,300)の場合
 図12のようにカバーの取付穴位置に合わせてホルダーユニットに 3.6の下穴をあけ、カバーに
 各々ビスで固定します。

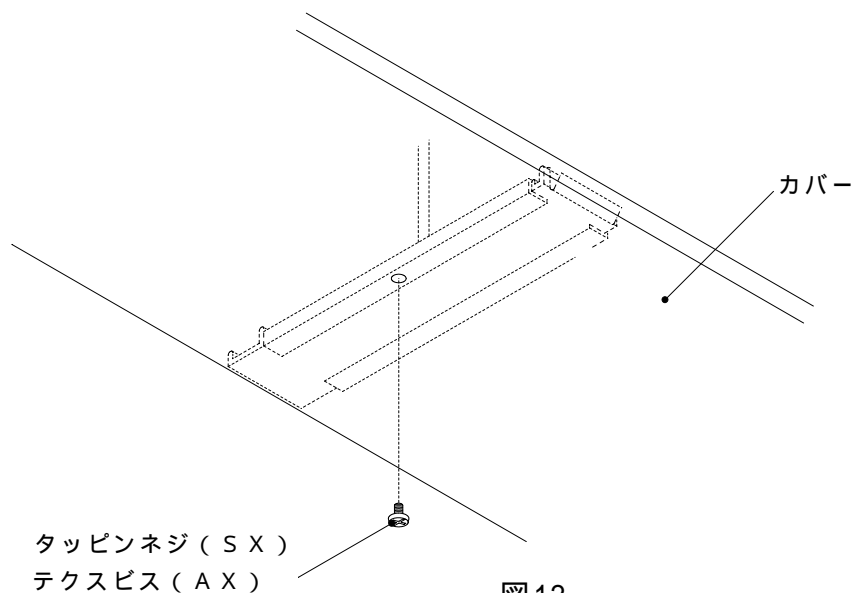


図12

6. エンドカバーの取り付け

天井用EXP.Jの端部(内壁用との取り合い)にはエンドカバーを取付ます。まずエンドカバーの
 取付るために、カバーの全長(L)を天井取付箇所長さ(W)から両端35(40;200G,3
 00G)mmづつ短くした寸法に切断します。(図13)

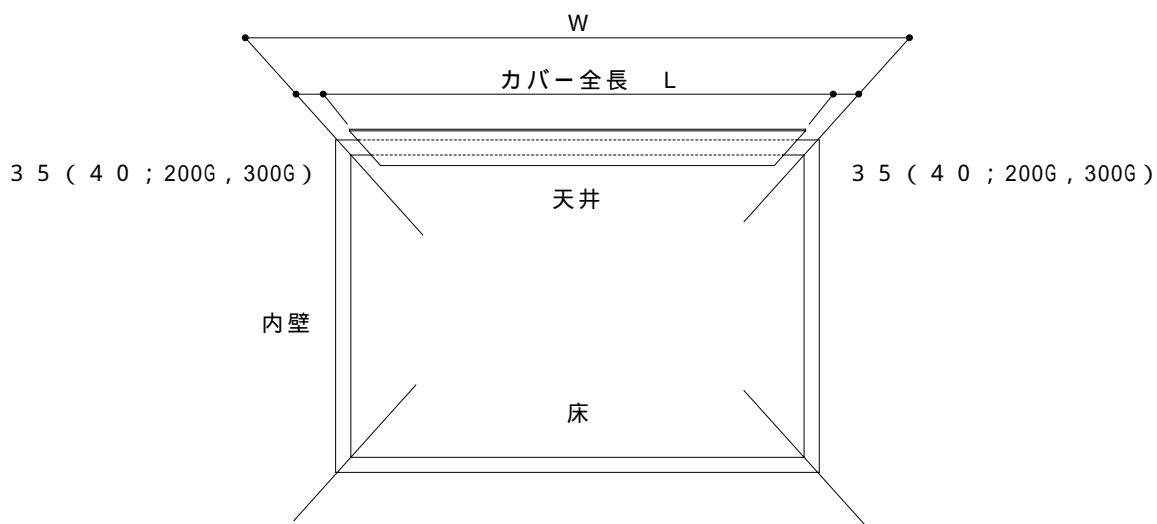


図13

次に、天井用カバーの端部にエンドカバーを差し込みます。このときエンドカバーには天井側、内壁
 側の違いがありますので注意して下さい。(次頁:図14)

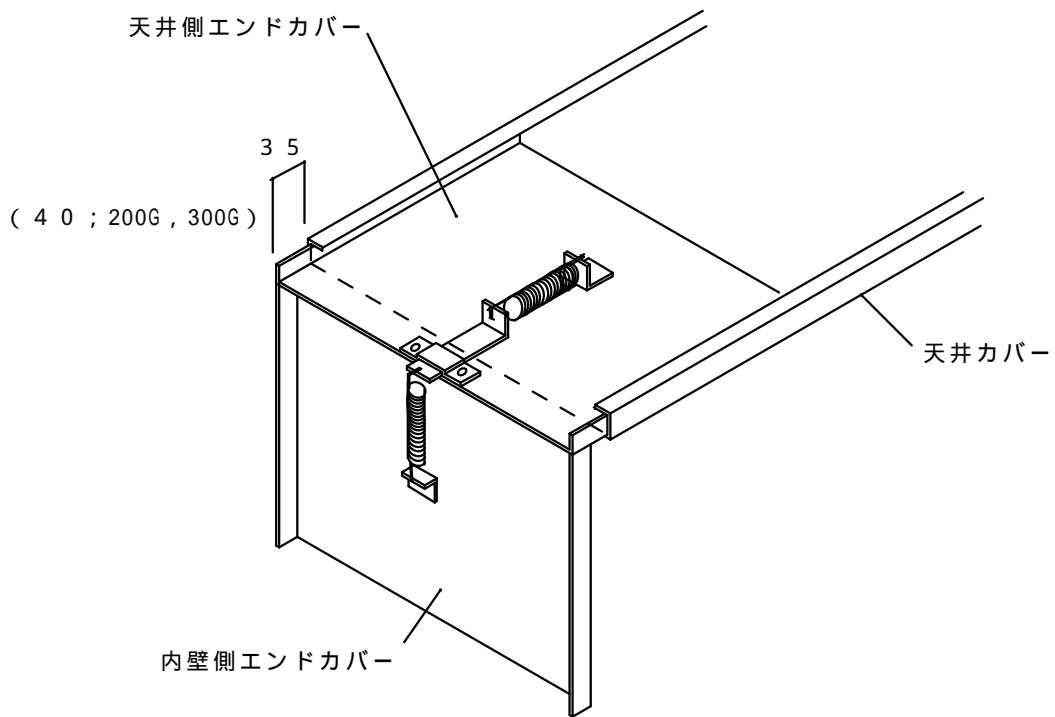


図14

エンドカバーを差し込んだままの状態、天井用カバーをホルダーにかみあわせます。
 内壁用エンドカバーは垂らしたままにしてください。内壁用カバーを矢印のように差し込み、天井同様ホルダーにかみあわせます。(図15)

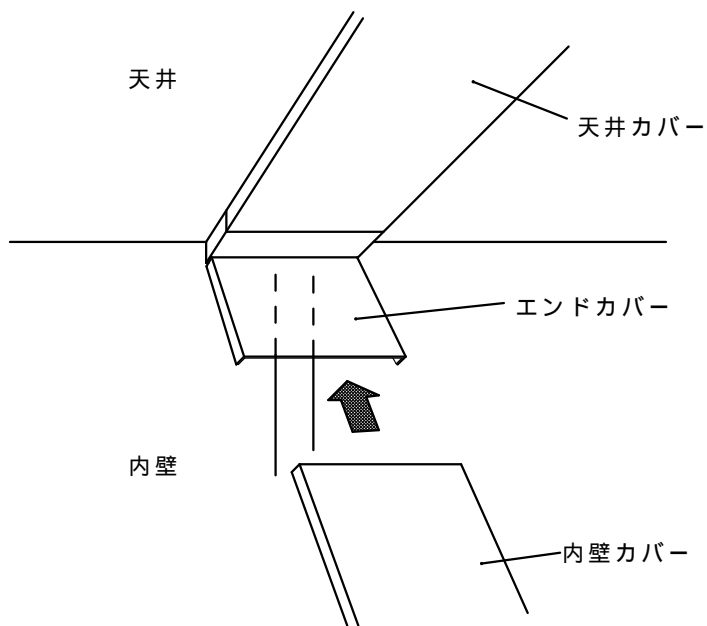


図15